

令和6年度 第9回

日南市教育委員会

会議録

令和6年11月21日(木) 午後2時55分から
日南市役所・別館2階会議室5

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第9回会議（定例）
- 2 会議日時 令和6年11月21日（木）
午後2時55分から午後4時30分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文 黒木由香 別府信一、八木真紀子、佐藤泰信
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課課長
学校教育課管理係長
学校教育課指導主事
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所・別館2階会議室5
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和6年度第9回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼束部長】
「担当監が所用のため、欠席です。」

【都甲教育長】
「本日傍聴者は1名ですね、よろしくお願いします。」
- 8 活動報告
 - （1）教育長活動報告

【都甲教育長】

・まず 10 月 27 日、飢肥小学校の運動会でしたので、飢肥小学校に私行かしてもらいました。皆さんも後でまたお願いします。

・それから同じ日の午前中ですけども、レクダンスのサークルがありまして、それが 20 周年ってことで文化センターに行かせていただきました。終日見させていただいてですね、非常に皆さんのパワーを感じる会でした。そのチャリティーダンスの収益をですね、翌日市の方に寄贈していただきました。

・続きまして 29 日、これ美郷町なんですけども、これは小学校と幼稚園をつなぐかけ橋プログラムなんですけど、それを北郷小中学校がやってるんですけども、美郷町も今年からそれを始めたってことですね。何か今後の研究の参考になればってことで、視察に来られました。

・そして 10 月 31 日が都市教育長会議。県内 9 市の教育長がえびのに集まってですね。いろいろこう話し合いをしたんですけども、今年話題になったのは、給食の無償化と部活動についてですね。無償化をしてるのは日南とえびのなんですけど、あとは小林市が補助とかですね、っていう話だったんですが、やっぱりなかなか無償化厳しいよねって話で、例えば小林も補助を考えてるんだけど、結局物価高騰でなかなかその保証が、どこまでするのかってなってですね。だからもう市長がいろいろ困ってるっていうことを聞きました。

・続いて 11 月 1 日、単独訪問ですね、吾田小学校。またお願いします。

・それから 11 月 2 日、大窪地区の運動会に部長と行かせてもらいました。大窪小学校の 5 人の子供たちと、大窪地区の皆さんで運動会あったんですけども、10 何年ぶりですかね、15 年か 17 年。それ以来の地区運動会ということで、ちょうど 3 連休だったものですかからよそに行ってる大窪出身の方が小さい子供連れて来られていてですね、わりと。体育館であったんですけども午前中に、結構にぎやかにやっておられました。

・それから 11 月 2 日、これ酒生哲雄さんっていう写真家の方、宮崎の方なんですけど、ちょっと誘いを受けたものですから行ってきたんですが、茜さすっていう昔の武家屋敷をね、改装したホテルで JR が買ったけども、手放して日南市が買ったんですけども、その中でですね、写真展をやってまして。非常に何か面白い写真で、大阪城が浮いて見えるような写真とかですね。でも実際に撮るだけ撮っただけらしいんですけど、何も加工はしてないってやつで、門外不出のテクニックらしいんですけど、やってました。面白かったですね。

・それから 3 日の日は市の功労賞ですね。表彰があったんですけど、今回は社会教育部門で社会教育委員の服部先生ですね、飢肥の。その方がもう長年社会教育委員として活躍いただいていたので表彰させていただきました。

・続きまして 5 日の日、今年から生涯学習課がまた市体育施設を管理することになったものですから、西武ライオンズとそれから 9 日ですけども、広島カープに訪問させていただきました。どうしても施設ってことがあるものですから、やっぱりここをこうしてくれ、

どうしてくれっていうのがあったんですけども、そこら辺はしっかり対応していきたいなというお話はさせてもらったところです。

・それから11月6日、校長会でした。やっぱり話題になったのは例の10月22日の雨の話になってですね、やっぱりどの学校もしっかり対応してもらって、子供たちが犠牲となるのはなかったんですが、やっぱりその学校によっては帰す時間帯がどうなのっていう保護者の方からの問い合わせみたいなのもあったのもあったらしくて、そういうのもですね。だから私がお願いしたのはPTA役員の人たちとですね、必ず振り返りをして、親御さんたちがどう考えたのかって言うですね。やっぱりそしてよりよい今後の避難とか、対応について精査していければなと、それをお願いしたところでした。

・それから続いては11月6日、単独訪問。吾田東が終わりました。

・続いて7日の日には日南高校の未来戦略課の研究発表会に行かせてもらったんですけども、ちょっと今年から様相が変わってですね。前までは探求と普通科っていうのをやってて、やっぱりどうしても探求の子の方がですね、こうなんかこう、研究の質が変わったので、ちょっと今年は幅を広げてやられたらしいんですけどもそういう中でもいい発表してくれて、市長賞をあげたのは障害のある子供たちに対して、高校生の自分たちが何をできるかっていうのを研究していてですね、なかなか面白かったですね。その親御さんに聞いて、どういうことをして欲しいですかとか、そういうのが市長賞をもらいました。

・続いて9日、グッジョブフェスタですね。これももう9回目ぐらいになるんですけども、だんだん商工会の青年部の方々がやっぱりこう力が入ってきてですね、子供たちも小学校4年生からなんですけども、来てくれてまして、ある子供のお父さんに聞いたらもう4年生になって、もうぜひ行かせてくれっていうふうに、4年生からとあったので。JRのところに行っていました。後でそのお父さんに聞いたら、JRも行ったんだけど、4つぐらい回るんですね、消防署にも行ってって話ですね。蓋開けていろいろ経験したら、こういう形でいろんな職業を経験して、商工会の方も自分のところにいろいろ興味を持って欲しいっていうのもあるみたいですね。

・それから11日、これ税の作文ですね、税の作文の表彰。これが秋口には毎年あるんですけど、飢肥中から始まって他の学校も回る予定です。もう2校ぐらいあります。

・それから吾田小合唱部が市長表敬訪問に来てくれました。6年生11名が来てくれて、アカペラで素晴らしい歌を歌ってくれたんですけども、何と全国1位になりまして、福島県知事賞という、郡山であったんですけど。郡山、非常に合唱の盛んなところで、その上のところに行ってますね、全国1位になって、37校チームが出て13校金賞で、その中の一番。いろいろ調べたら、県内ではまだそういうのを取った学校はないらしくてですね。今度12月1日に「お世話になりましたコンサート」をするみたいですね、はい。もし時間があったら、気になったら聞いてください。本当に上手です。

・12日は飢肥中学校の単独訪問でした。

・それから13日は小中学校音楽大会。去年からですね、もう1日ハートフルに居座って聞かせてもらったんですけど、やっぱり楽しいですね。小さい学校もみんな出てきてです

ね、もうどれぐらい練習したんだろうという感じもあったりして、もう全校児童で来て、先生もみんな来てですね。遠足気分できて楽しいだろうなと思ったところでした。

- ・それから単独訪問、東郷小中学校に行きました。

- ・そして同じ 14 日の夜は国際塾。6 年生が 23 日からまた東京に行きます。ちょっとその時に挨拶をさせてもらいました。

- ・15 日は南郷ファーム。榎原の方にあるんですけど、養豚をされてますけども、今回寄付をいただいて、それをもとに豚肉を使わしていただいて、20 日の日にね。油津小学校でね、その豚を使って、その南郷ファームの社長さんも行って、一緒に食べたということですね。

- ・それからつわぶきハーフマラソン、17 日。これも今年からまた生涯学習課に戻ったものですから、私も行かせていただいて、私 3 キロと親子のヨーイドンでスタートしたんですけど、当日暑くてですね、やっぱり大変ですね、もう汗びっしょり。ただ、私も今までなかなか周りの交通渋滞があって行けなかったんですけども、今回行かしていただいて、先ほどのダンスの方々が、振る舞いで舞台料を出したりとか、やっぱり日南学園の子たちがボランティアで出してくれたりとか、やっぱりみんなで支えてもらってるような大会なのかなっていうことでした。やっぱりこれは日南の大きな行事として外せないのかなあということでした。

- ・それから 19 日これは官公庁の連絡協議会なんですけども、年 2 回ありまして、今年は県病院とかの事務長さんが話されたんですけども、やはり子供、市民の数が減ってきて、市内の病院の数も減ってきて、個人医院の県病院の立場っていうのがやっぱりぐっとクローズアップされていると。ただやっぱり県病院もなかなかその、経営面で苦しいっていうのもあるみたいですね。そういうのもお聞きしました。

- ・それから昨日ですが、人事のヒアリングっていうのありまして、これは 7 年の 4 月 1 日付の先生方の人事異動の話だったんですけども、校長たちが来まして、学校のいろんな状況お話をしたところでした。

- ・そして昨日の夜は歯科医師会の先生方と意見交換会をさせていただいて、前半はいろいろ歯科医師会の方との意見交換とかもやったんですけども、昨日出たのはなかなか歯医者さんも忙しい中で、小規模校を何個もあるんだけど、ああいうところを 1 つにやって、集約してできないのかとかですね、そういう話があったんですけども、そこら辺はなかなか、その時間の調整とか難しいので、今後教育委員会がリーダーシップをとって考えてもらおうとありがたいということをおっしゃいました。それぞれ学校がその校医さんが違うものですからね、なかなか学校を通しての調整は難しいっていうことでした。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

10 月 25 日ですね、宮崎の方で教育委員会連合会の研修会に参加してきました。門川町

と串間市の事例発表も大変参考になるお話を聞くことができました。また宮崎大学の堺教授の方からは、不登校の理解と支援という演題で講演を聞かせていただきました。不登校の生徒が卒業する前に、市町村とのその支援担当者への繋がりにっていのをしっかりと作ってあげてくださいという最後の言葉がですね、とても印象に残りました。

続きまして 10 月 27 日に吾田東小学校の運動会の方に参加してきました、すべてのプログラムが順調に進み、こちらの方も大いに盛り上がった運動会でした。

あと 11 月 5 日と 19 日、こちら 2 日なんですけれども、共同募金の助成金の事業審査会を行ってきました。

続きまして学校訪問です。11 月 12 日、飫肥中学校の学校訪問。こちらの方では先日、私たちも見学させていただいた飫肥地区の資料館など、こういった魅力的なですね、施設がたくさんあるので、ぜひ中学校の子供たちに活用していただいて、また郷土愛を育てていただきたい旨をですね、お伝えさせていただいたところです。

11 月 14 日、東郷小中学校の学校訪問に行ってきました、職員室の方も拝見させていただいて、またこちらの学校、チームづくりをととてもですね、大切にされている印象がありまして、働き方に関しても、不登校問題に関しても、小中一貫校の特性を生かして取り組まれているとお話を伺うことができました。

最後に 11 月 18 日、油津中学校の学校訪問に行かせていただきました。いろいろお話を伺った中で、やはり印象に残ったのは夢広場で行われるイルミネーションのボランティア活動です。設置作業だけではなくて、企画作成も行われるということで、地域の方々も喜ばれていたとのことでした。やはりこのような繋がりにっていのはですね、今後も続けていただきたいなと思った訪問でございました。

【佐藤委員】

運動会小学校ですね、私は桜ヶ丘に行かせていただきまして、私が幼稚園に最初に来た時にいた卒園した子が 6 年生になってまして、大人しい子だったんですけど、何と副団長やっついまして、残念ながら優勝も応援賞も逃してしまったんですけど涙で、いやーこんな子だったかなあとか思いながらすごくこうね、成長した姿を見られて良かったです。いつも運動会の時支援学級の子たちとかどんなふうに参加してるかなと思って、いろいろプログラムとかも工夫してですね、一緒にできるような配慮はされててよかったなと思うんですけど、やっぱり開会式閉会式がどうしても気をつけよう、話聞かんといかんじゃないですか。そこら辺はやっぱり一番苦手な部分で、先生がやっぱりこう後ろからだっこしてるというか、押さえているというか、何かそこ辺もですね、何かしらもっと変えてもいいんじゃないかなと。オリンピックとか国体も名前変わってね、スポーツ。国スポ。入場なんかもね、もう昔みたいにこうピンッとしとこうというのもなくなってるので、子供たちが将来気をつけをして話を聞かないと給料がもらえないということであればですよ、しなければいけないけれど、そこら辺はちょっとせめて友達が手を繋ぐとかですよ。なんかできるといいなとちょっと思いましたけど、はい。また今後、見ていきたいなと思

います。

あと学校訪問が吾田小と吾田東と飢肥中で、吾田小は通級教室。やっぱり支援の必要な子たちへの配慮っていうところはすごく考えてらっしゃって、幼稚園の方も頑張らんといかんなと思いました。吾田東は最後にお世話になった学校だったんで特に思い入れがあるんですけど、やっぱりいろいろあったとはね、言われてましたけど、非常に落ち着いて授業ができて、チームワークもすごくいい感じだなというふうに思ってますね、やっぱり先生たちが頑張れば子供たちもちゃんと答えていくっていうか、そんな感じを受けました。

飢肥中はスクールワイドPBSでしたっけ、褒めて育てるという。望ましい行動があったときに、それをちゃんと認めてあげる。で、望ましくない行動はその前のところの環境とか原因とか、そこが大きいっていうことで、認める褒めるっていうことを特に中学校がですね、やっていこうよというのは素晴らしいことだなというふうに思いましたが、なかなか簡単なことじゃないと思うんですね。特に望ましい行動っていうのは、一人一人違うわけですよね、本来は。だから発表をどんどんするっていうのも、何の努力もいらずに発表できる子もいれば、もうすごくドキドキしてなかなか手が挙げられないという子もいる中で、クラス全体の目標とか学年の目標とか学校目標ってなると、なかなかね。そこをやっていく時に同調圧力っていうか、そういうことにならないようには気をつけていかないといけないんじゃないかなと思うんですけど、方向性として本当に褒める認めるっていうことで、その子達を伸ばすっていうのは、とても大事な視点だと思うんでこれも楽しみだなあと。本当今後ですね、どんなふうにされていくのか、また私も勉強させていただきたいと思います。

あとですね昨日かな、日南市の地域自立支援協議会。福祉課がやってる、その子供部会がありまして、前も話したように不登校がテーマなんです。小学校の先生たちと一緒に会を持ちたいということだったんだけど、講師の都合がつかなくて、宮大の竹内先生にお願いしてたんですけど都合がつかなくて、昨日本当は小学校の先生たちとその事業所の職員と一緒に研修を受けるはずだったんですけど、それができなくて、来年度ということになったんですが、やはり事業所と公立学校の垣根っていうかですよ。それはやっぱりあるなと思うんですね。公立と民間っていう違いもあるし、事業者も正直言って様々ですから、やっぱりそこは人としてこのところが信用できるところがどうなるかっていうところもあるでしょうけど、やっぱり同じ方向で子供たちを。事業所の方は発達支援のプロっていうか、それとしてどうにかしてあげたいっていうか、貢献できることはないかというふうに考えてる。そこをうまくなんかですね、つなげられるといいなと。ただ生徒指導主事の部会とかに事業所のその組織の代表者がいますんで、ちょっとお話をさせてもらうとかですね、相手を知るっていうところを、お互いに何か遠慮しちゃってですね、なかなか使いづらいと。保護者が希望しての保育所等訪問で学校にも行けるんですけど、そこを学校側からも使ってみたらどうですかって、保護者負担もないからですね。学校ももちろん負担ないし、ちょっとでもそういう思いが繋がるといいなと思ったところです。

【八木委員】

私も市町村教育委員会の連合会の会議に参加してきました。堺先生が吾田小、吾田中、日南高校出身ということで、もともとは引きこもりの専門だったということですけど、引きこもりの人の 2 割はやっぱり不登校から来るっていう。もうそういうデータを聞いたことなかったんで、やっぱり学校と家庭とそれから地域の連携がすごい大事だという話を聞いて、改めて不登校の何て言うかな、対策を考えなければいけないのかなと考えました。

あと門川町の発表がですね、防災のですね、7 名でしたかね。中学生が防災士の資格を取って、その人たちがいろんなボランティアになってやっているっていう、それがすごい素晴らしいなと思ってですね。やっぱり今からね、水害とかそういうものが増えていくんじゃないかなと思うので、温暖化も本当グローバルウォーミングからもボイリングっていうね、そういう言葉になってるんですけど、そういうこともやっぱり日南市もしっかりしていかなければいけないんじゃないかなと思いました。

大堂津小学校の運動会に参加したんですけども、3 名という人数の中でやっぱり本当に工夫されたプログラムで、本当スムーズに進行されていました。印象としてはすごい保護者と地域の方がとても仲がいいんですね。ある男の人がもうすごく子供たち応援して、パシャパシャ写真撮ってる人がいたので、PTA の方ですかって聞いたら、駐在所のお巡りさんですと。登下校の見守りを本当温かくされてるんだなと思って、誰々や誰ってこうなんかされて、学校の横に駐在所必要だなっていうか、すごいなんか素晴らしい方だなと思いました。

それから 1 日、吾田小の学校訪問に行かせていただきました。生活面とか学習面の決まりはほんと基本的なことを全部押さえてらっしゃったので、子供たちにそれを伝えているので、すごく学習とか、落ち着いて取り組める雰囲気があるんじゃないかなと感じました。

それから 18 日は吾田中学校に行かせていただきました。授業改善や教育の人材育成に力を入れている学校という印象でして、子供たちのアンケートで将来の夢や目標を持っているとか、学級の友達とよく話し合っているとか、肯定的な考えを持ってる子が多い。それはやっぱり先生たちの熱意が伝わってるんじゃないかなと思いました。今後のイルミネーションですね、あれもなんか今年は何でしたっけ 31 名でしたっけ。ボランティアってことで今後が楽しみだなと思いました。

あと、教育委員会の活動はこれだけなんですけど、個人的に潟上小学校の三、四年生の遠足にボランティアとして参加したんですけど、猪八重溪谷に行ったんですね。もう大変素晴らしい遠足で、森林ボランティアガイドの谷口百合子さんのガイドとか素晴らしいんですよ。もう子供たち五感を研ぎ澄まして深呼吸しながらですね、もう帰りは大声で歌いながら帰りました。あそこって本当に学習するもの、本当に生きた教材がたくさんあるんですね。例えば始良カルデラの爆発した火砕流もね、見れるんですよ。とか、昔海の底だったので化石も子供たちもいっぱい拾ってましたけど、そういうこともあるし、昔の火

力発電の後とか、歩道とかそういう暮らしも見れるし、素晴らしいところなんですけれども、もう1校だけだそうです。日南市内でみんなの溪谷のことを知らないんですけど、すばらしいプログラムがあるのでもうぜひこれはもっと進めて。窓口が森林組合ですね、無料なんですよ。もう紙芝居していただいたりとかね。本当子供たち楽しかったと思いますんで、やっぱり何ですかね。校外学習だと時間が本当に短いので、もうぜひ遠足で、うん。たくさんの方に行って欲しいなと思います。

あと音楽大会、私も行ったんですけど、今ピアノを習ってる子すごい少ないんですね。もう本当伴奏大変なんですけども、3ヶ月猛練習した先生がいるんですよ。ピアノの経験がないのに、難しい楽譜を一生懸命弾かれた方がいたので応援に行ったんですけど、もうなんかそれでまた生徒と繋がりがね、できて、もう生徒は涙を流して、先生が弾いてくれたって。なんかすごく感動しました。

【都甲教育長】

先ほどの猪八重溪谷ってのは、やっぱり本当 PR 不足ですね。もう本当知らないですもんね、なかなかね。

【佐藤委員】

台風でほら、被害が出てですよ。遊歩道が結構壊れましたよね。それからちょっとなんかね。もう大丈夫ですよというのがひょっとするとあんまり伝わってないのかもしれないですね。

【八木委員】

ほとんどの森がもう今鹿で壊れてる状態じゃないですか。県内であそこが一番いいんじゃないかなってぐらい、もういろいろなことが学べるんですよ。もう本当葉っぱちぎってにおい嗅いだりですね、もう本当質問攻めでした。あとは触ったり、葉っぱで水をすくうとか、本当に良い授業ができる場所だと思うので、もったいないです。

【都甲教育長】

本当は渦上小学校の校長あたりがもっとね、PR するといいですけどね。

【八木委員】

そうですね。教頭先生が見えていたので、ぜひお話聞いてください。

【黒木委員】

私は学校訪問で、11月6日の吾田東小学校に行きました。まずこちらの方は、初めて私は吾田東小学校を訪問させていただいて、学校がすごくやっぱ広々していてガラス張

りで明るいという印象でした。この前の地震でも、全然ガラスの被害がなかったっていうのがすごくびっくりして、耐震対策とかがなされてる新しめの学校なのかなっていう印象だったんですけど、子供たちも授業の態度というか、落ち着いていて、目があった低学年の子とかは笑顔を返してくれたりとか、なんかすごく元気があってしっかりした子供たちなんだなと印象を受けました。先生たちの個々に対する対応がすごくこう努力と工夫がなされていて、どの子も取りこぼしのないような対応がされているなっていう印象があったので、すごく子供たちは恵まれてるんじゃないかなっていう印象でした。

ただ1つ歯の治療率が悪いっていうことで、歯医者さんに行けない子供、情緒不安定の子、ちょっと何て言うんだらう、発達障害気味の子供たちは歯医者さんから断られて、危ないからって言われたりすることもあるっていう話をその時ちょっと初めて聞いて、そういったことで治療ができない子供たちもいるのかなっていうのと、そういったところの対応っていうのが分からない子はどこに行けばいいのかなとか、どんなふうになればいいのかなっていうのが分からないんだなっていうのも、ちょっと今回初めて知ったので、また何かの機会があればその辺も歯医者さんの方たちと話し合う機会があればいいのかなっていうふうに思いました。

もう1校が14日東郷小中学校に行かせていただいて、ここは何回か訪問させていただいて、久しぶりの訪問だったんですけど、毎回やっぱり小中学校のメリットデメリットっていうのはどんなところがありますかって聞くと、やっぱり何年経って先生たちが入れ替わっても同じ良い面と悪い面の課題が、デメリットの方の課題は同じで、6年生がちょっと上にまだお兄ちゃんお姉ちゃんがいるから、もうちょっとこう、最上級生っていう自覚がちょっと、ないわけじゃないんですけど、そこがやっぱり他の学校の子とすると、とか。その卒業式の件だったりとか、毎年やっぱり毎回聞くことは一緒なんですけど、ただやっぱり含めて思ったのが、9年間同じ学び舎で過ごすっていう価値というか、そこを巣立つ時の子供たちの郷土愛だったり学校愛だったり育むものはやっぱりすごく深いものがあるんだらうなっていうふうに感じたところでした。やっぱりそれが地域愛に繋がって、また先々子供たちへいろんな、あそこ結構取り組みがありますよね。さとねりだったり、そう昔からね。何かこう、なんでしたっけ、布でこう草履を編んだりとかして。そういったものに対して中学生がやっぱりリーダーシップを取るのも、小学生も見ると世界が広がるなっていうふうに感じて、今回も楽しい学校訪問させていただきました。

【都甲教育長】

先ほど言われたその歯のことですけど、昨日まさしくそういう話になって、やっぱり二極化らしいんです。とても細かい方は、例えばうちの子が虫歯になりましたって連れて来たら実はゴマが引っかかってたりしたらしくて、細かいゴマですよっていうのもあったり、片やもう全然やっぱりもう完治しないようなところもあったりとか、今はもう虐待でもネグレクトとかあるじゃないですか。やっぱ虫歯が多いとかね。やっぱ難しいらしいんですけど判断は。だからその二極化みたいなのは出てきているって話ですね。学校に行っ

ていれば、小さいころからやってれば今の子は日に3回は歯を磨くわけです。これかなりもう定着するじゃないですか。だからそういう意味じゃ、大分歯医者さんに来る子供たちは減ってるらしいです。以前と比べ、フッ化物もやってますし、ただその中でもやっぱり虫歯がある子はいまだにいるという。お母さん、お父さんが磨きなさいって言ってもやっぱり習慣ついていない子は磨かんからですね、そこら辺がやっぱり歯医者さんたちにとっても悩んでいるか、どうしたものかなというふうに言っていました。

【黒木委員】

幼稚園ではどれぐらいから歯磨きの指導っていうのは。

【佐藤委員】

年中ぐらいからですね。それまでは幼稚園ではうがいをする。うちも在籍してる子でやっぱり診断名も出てるし、本当もう行けないんですよ反射的に。暴れて危ないっていうか。やっぱり感覚過敏もあってキーンっていう音とか薬のにおいとか、もうあんなのがやっぱり駄目で、だから決してお母さんもサボって連れて行かないわけじゃないんですけど、もうやっぱり無理ですって言われて、何か宮崎に行くしかないっていうか。そこはね、なんか受け入れてくれる歯医者さんがいると。なかなか難しいですけどね。

【都甲教育長】

ただニーズはやっぱりありますよね、この時代。なっちゃうんだから、虫歯に。

【佐藤委員】

やっぱり痛いといライラするから悪循環ですよ。

【黒木委員】

なんかやっぱりだから、乳児健診も赤ちゃんの時とかも、そういうお母さんに対する指導の時から、子供が歯医者さんに行けない、虫歯がなければ歯医者さん行かなくてもいいから、歯並びとかそういうことは追々出てくるにしても、やっぱり自宅でのケアっていうのがもう本当に大事だなって最近よく思うので、お母さんが一番やっぱりね。結局ほっとけばほっとくほど手だてがなくなって大変なことになるから、親がやっぱり背負うことになるので。日々のところはね、もう本当にちっちゃい頃からやらないといけないなと思うことが最近どんどんこうあの携帯とかでもそうですけど、何でももう本当に生まれたころからっていう親に対する意識づけが、本当重要だなって最近いろんなところで。また今後子供とこういう話をそうですね、はい。大事だと思うんですけど。

【佐藤委員】

数字を数えられるとかですよ。文字が書けるということよりも大事なね、一生つき合わ

なくちゃいけないものですから。今パソコンとかもあるし、大人になって虫歯が一本もないって言うすごいって言われるじゃないですか。でも大人になって掛け算九九が言えるってあんまり褒められないんですよね。だからね、やっぱそういう一生物の宝を。歯磨き週間とかですよ。

【都甲教育長】

虫歯を直すと食べるものをちゃんと食べるようになるらしくて、成長に良いとか言われました、昨日。大きくなったね、みたいな感じがあったというお話で。やっぱりちゃんと直してあげたら、ほら、入れ歯が合わないとなんか食べられないじゃないですか。あれと一緒に。そういう話をして、すごい話だなあと。歯って奥が深いなと思ってですね、大事ですよ。

9 前回の議事録承認

第8回の議事録について了承

10 研修

「日南市の部活動の現状について」新改指導主事説明

【佐藤委員】

その地域スポーツの指導者の皆さんは、その部活動との連携とかはどんなふうに考えていらっしゃるんでしょう。

【新改指導主事】

地域のスポーツの方々と、部活動顧問の先生の連携ってのは、多分今の段階ではあまりとれていません。それを同じスポーツであったりとか、そこでやっぱり共通理解とか話をするとともに協力できることもあるんじゃないかなと考えていますので、関係者会というのを設けて、実際それぞれこれからですね、やっぱり話をしたいと思っています。

【別府委員】

その部活動指導員7名いらっしゃるということで、外部の。そうじゃない学校に関しては、まだ今でも、例えば昔聞いたのが全然野球とかはしたことないんだけど野球の顧問になってる先生とかっていう先生は、まだ現状としてはいらっしゃるのでしょうか。

【新改指導主事】

今年度については専門率を正確には出していませんが、おそらく自分が指導できる競

技の顧問をしている先生というのは、全体の 3 割から 4 割程度だと思います。半数以上の先生方は未経験の競技であるとか、勉強しながら指導に当たっていただいている現状があります。

【別府委員】

現在まだ中学校の先生の部活動は、働き方の面に関してはやっぱり負担になってる感じはやっぱり多いんですか。

【新改指導主事】

はい。やはり土日に活動することがあり、大会前とかになると練習時間が少し長くなってしまったりとか、練習試合に行ったりとかありますので、少なからず時間外が増えてしまうのは現状としてあります。

【別府委員】

今からやっていこうとするのは、その先生の負担を少しでも軽くするための取り組みっていうところもやっぱり大きいのでしょうか。

【新改指導主事】

はい。1 つはそこがあります。

【八木委員】

中体連とかは合同でも、例えば吾田小と吾田東小と一緒に合同でも、そうか、中学校だから小学校は違いますね。そのような形でも出れるんですか。

【新改指導主事】

現在いろいろ規約が変わっていったところで、中体連につきましては、拠点校であれば参加可能です。ただし地域クラブ活動は先ほど説明しましたが、日南でいうと油津ベースボールであったりとか、南郷バレーボールとかにつきましては、中体連に関して言いますと、夏の大会しか出ることができません。秋の中体連には参加ができません。そして夏の大会というのも、宮崎県の中で予選をして、クラブチームとしては本当限られた 1 チームから 2 チームしか県大会に参加することができないという。でもこれは今後整備を進めていくということを聞いています。

【黒木委員】

これは宮崎県の中では、日南市以外にもこういった同じような取り組みをされている市町村ってあるんですか。

【新改指導主事】

全市町村挙げて、やはりこの取り組みを進めているところであります。先日、宮崎県の中で会議がありました。やはり、どうしようかとやり始めているというところがほとんどなんですけれども、その中でも宮崎市さんの説明とかは、令和８年度から土日に関しては移行しようかという形で進めていますという説明もありました。

【黒木委員】

じゃあ、みんな同じぐらいな状況。

【都甲教育長】

小林が先進的に、その県の研究指定ってやってるんですよ。この前小林の教育長が言っていましたけど、拠点にやったりとか、あとみんな集まるんだけど、やっぱりそうなった時に、その足のない子供たちの交通の手段とか、そして待ってる学校の子供たちも先々やってるわけいかなので、やっぱり待って一緒にやる。いろいろその時間的な制約があるとは言っていました。

【黒木委員】

これは拠点校方式の検討のところなんですけど、近隣の中学校の部活動に入部することができるといのは、土日だけのお休みの日はその学校に行って練習するということなんですか。それとも学校が終わって、拠点校に移動してでしょうか。

【新改指導主事】

今考えてるのは、もうその部活動に入るのであれば、その部活動へ入部しますので、平日については、それも県内いろいろ拠点校を設置している市町村もありますので話を聞くと、送迎が可能などもしくは移動が可能な場合は、近い学校同士であれば自分の学校帰りの会が終わってそのまま自転車で行きますというところもありますし、平日については自分の学校で自主的に練習をする、土日に関しては集まって練習をするっていうような形で拠点校方式をしているところもあります。日南市でもしこれをするとなると、少し学校がやはり離れていますので、平日については各学校で自主的に練習したりとか、もし保護者が送迎可能であれば平日送っていただいて一緒に練習するという形で様々なパターンが考えられます。

【黒木委員】

その場合はやっぱり見守りっていう感じで、今の部活動顧問の先生がいるように、拠点校があっても平日はその自分の学校で誰かしら先生が見守るっていう形でしょうか。

【八木委員】

横浜の例ですとあれですよ。多分昼休みが短くて、部活が終わる時間が5時ぐらいなんです。それから習い事にみんな行ってるという話を聞いたんですけど、そういう時間のこと。夕方の時間ですよ。その調整ってすごい大変だろうなってちょっと今考えて思ったんで、必要でしょうね。そこが違うので、習い事できないような、はい。

【新改指導主事】

お話があった件ですが、おそらく保護者が送迎することもあるし、自分たちでバス、公共です。

【八木委員】

そう、電車があるんですよ。みんな電車で、校外学習とかも電車に乗って集合ですからね。

【都甲教育長】

あと、都会の学校はもうスポーツクラブがやっぱり盛んなので、そこが全部請負ってくれとかですよ。何でも見ますよ。あと学生とかも多いので、大学生の子たちがこうやっぱり手伝ってくれて、そういう人もいますよね。そういうのが利点というかですね。

【佐藤委員】

これも好きなものを選べるとか仲間がたくさんいるっていうので、子供たちはそこでぐっとう成長するでしょうから。

【都甲教育長】

何とかいろいろ仕組みを、そうですね。また追々ここで報告させていただいてですね、やりたいと思います。

1 1 報告

報告 1 他市町村教育委員会との意見交換会について

(武田主任主事) (都甲教育長)	他市町村教育委員会との意見交換会について説明。 いよいよ計画は高千穂になりました。ここに行ってしまうと来年度以降どこでも行けますね。一番遠いので。朝8時半から夜7時までなんですけども、頑張りましょう。また、終わってからちょっと補足があるみたいなので、よろしいですかね。こうい
---------------------	--

う形でやるってことで、はい。よろしくお願いします。向こうの教育委員の方々も楽しみに待ってるらしいので、お願いします。

12 議事について

議事 1 12月議会上程議案等について

(鬼東部長)

12月議会上程議案等について説明。(学校教育課)

//

(生涯学習課)

(佐藤委員)

ここ、中央共同調理場というのは単年度契約ということですか。

(鬼東部長)

単年度契約ですね。

(佐藤委員)

実際業者が変わることは。

(鬼東部長)

ちょっともう入札等の関係なので、そこはちょっとわからないですね。これについては複数年度でやるっていう考え方もあると思うんですけど、それでちょっと苦労してるのが逆に指定管理の方なんです。先がちょっと見えないもんですから。もう本当に重永課長が非常に困っておりまして、5年先がどれだけ物価が上がってるかというのがわからなくてですね。とりあえず指定管理をした設定はしてるんですけども、当然経済状況によって契約の中で、その情勢を見て契約変更ができるっていうのは、ちょっと当然そういう救済的な措置の部分はあるんですけども、だから複数年度にするとそういう予算設定の方がですね、今度逆に難しくなっているのがあります。毎年変わってしまうということで、とりあえず予算を上げるときには必ず見積もりを取って、はい。当然人件費を含めていろんな諸経費を含めて見積もりをとりますので、それをもとにこちらの方も予算、あと設計金額等も設定していきますので、あとはそれぞれの見積もりを取られる業者さんの考え方になると思うんです。どっちにしても上昇傾向には、人件費に限らずですね、いろんな経費が上がってますので、上昇傾向にありますので。例えば管理費の中で移動にかかる経費とかですね。そういったものが入っていると思うんですよ。そういったものも含めてちょっと上昇傾向にあります。

(佐藤委員)

給食はすごく大事なと思うので、そこですね。予算だけではなくて、どういう理念で経営していただくかということに、そうですね、大変だと思うんで。

(別府委員)	すみません 1 つだけ教えてください。図書館のパナソニックの除湿器リコールっていうことは、何かパナソニックからのあれはないんですかね。保証みたいなのは。
(重永課長)	パナソニックがすべて引き取って、そういった保証はもう全部パナソニック側からありまして、それに見合う分はもうすでにあったところです。プラスマイナスしてから 23 万あります。
(都甲教育長)	この教育係のそのお金を返す戻入の部分ですけどね。人がいなかった、もったいないですね。せっかくこういう人のために予算を取ったのに、それだけなかなか人が集まってくれないというか、もったいないですよ。学校にはそういうね、病気の子の面倒を見るとか、非常に大事なんですけど、なかなかいないんですよ。
(黒木委員)	これは募集的なことってどういった感じでされたんですか。
(鬼束部長)	市の広報、広報にちなんと、あとはもう日南市のホームページとハローワークです。
(都甲教育長)	だから、かなり広く出してたんですけどね、集まらんですね。個人的に声をかけたりとかね、どうしても必要な時があるんですけど、残念ながら今回は、はい。そういうとこでした。

議事 2 日南市教育委員会表彰選考規程の改正について

(重永課長)	日南市教育委員会表彰選考規程の改正について説明。
(都甲教育長)	栄誉賞の中に作品展でね、賞取った人にとってのはあるんですけど、こういうのがなくて、本当に芸術部門でいろんな広めるために頑張ってもらえる方を何かこうね、表彰できないかなということで今回入れさせていただきました。よろしいでしょうか。

議事 3 他課との意見交換会について

(武田主任主事)	他課との意見交換会について説明。
(都甲教育長)	今回から初めてやるもんですから、まずはこども課とですね、いろいろ意見交換させていただいて。大丈夫です、来年再来年他の課も待っていますので。いろいろまた考えて、その時に合ったいろん

な課題というかテーマでそういう方と話をできればなと思ってます。またそれを皆さんが自分のものにしていただいて、教育の方に生かしていただきたいなと思ってます。こども課でよろしいでしょうか。また 12 月 19 日ですけれども、よろしくお願いします。

議事 4 日南市教育振興基本計画について

(新改指導主事)
(都甲教育長)

日南市教育振興基本計画について説明。
よろしいでしょうか。パブコメを受けて、校長会とかにも出しながらか進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

1 3 その他

(1) 12 月行事予定について

(2) 令和 6 年度市町村教育委員研修

- ① 日時 令和 6 年 12 月 12 日 (木) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで
- ② 場所 オンライン

(3) 他市町村教育委員会との意見交換会

- ① 日時 令和 6 年 12 月 16 日 (月) 午前 8 時 30 分から午後 7 時まで
- ② 場所 高千穂町コミュニティセンター (歴史民俗資料館)

(4) 総合教育会議

- ① 日時 令和 6 年 12 月 19 日 (木) 午後 1 時 30 分から
- ② 場所 日南市役所・別館 2 階会議室 4

(5) 定例教育委員会

- ① 日時 令和 6 年 12 月 19 日 (木) 午後 3 時から
- ② 場所 日南市役所・別館 2 階会議室 5

(6) 他課との意見交換会について

- ① 日時 令和 6 年 12 月 19 日 (木) 午後 4 時から
- ② 場所 日南市役所・別館 2 階会議室 5

(7) その他

1 4 閉会